

三重県ハイシニアソフトボール大会

兼全日本ハイシニアソフトボール大会県予選会兼東海地域ハイシニアソフトボール大会県予選会

第1日 2017年 7月 15日 (土)

開催地: 三重県 鈴鹿市

《1回戦》

球場名: 鈴鹿川河川緑地グラウンド・ソフトボール場 No. 1

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計	試合時間1:30	(球審)
四日市ハイシニア	6	0	1	0	0	0	0	7		小野 誠
いせ・宇治山田クラブハイシニア	0	0	0	0	0	1	2	3		(一塁) 小林 重隆 (二塁) 宇野 浩之 (三塁) 山田 俊彦 (記録) 加藤 幸代

(バッテリー)[勝:○, 負:●] 先攻(投) ○川本 好幸, 矢田 良蔵 --- (捕) 丹羽 徹
 後攻(投) ●高橋 幸三, 丸島 一眞 --- (捕) 安田 昌秀
 (本塁打) _____ (三塁打) _____
 先攻 (二塁打) 前田 義之, 上田 憲治
 (長打) (本塁打) _____ (三塁打) 石井 秀之
 後攻 (二塁打) _____
 (特出記録) _____

《1回戦》

球場名: 鈴鹿川河川緑地グラウンド・ソフトボール場 No. 2

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計	試合時間1:41	(球審)
桑名ハイシニアSBクラブ	5	3	2	2	0			12	時間切れ	小林 孝次
鈴鹿シニアソフトボールクラブ	0	1	2	1	7			11		(一塁) 鈴木 晃 (二塁) 小野 誠 (三塁) 小林 重隆 (記録) 永戸 雪弘

(バッテリー)[勝:○, 負:●] 先攻(投) ○佐々木 桂三, 峯 等志 --- (捕) 山長 八蔵
 後攻(投) ●江口 一郎, 松本 勝吉 --- (捕) 垣内 昌次, 石井 延夫
 (本塁打) _____ (三塁打) 多胡 正良
 先攻 (二塁打) 多胡 正良, 佐々木 桂三
 (長打) (本塁打) _____ (三塁打) 池田 弘, 佐藤 正行
 後攻 (二塁打) 池田 弘, 岡田 好和, 森 勝義, 石井 延夫
 (特出記録) _____

《1回戦》

球場名: 鈴鹿川河川緑地グラウンド・運動広場 No. 3

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	計	試合時間1:24	(球審)
中川パワーズ	0	1	3	1	0	4	0	9		梶 允夫
伊勢ハイシニアクラブ	0	0	1	0	1	1	0	3		(一塁) 寺田 泰英 (二塁) 佐藤 江美 (三塁) 三田 龍男 (記録) 毛利 勝美

(バッテリー)[勝:○, 負:●] 先攻(投) ○矢田 義信 --- (捕) 余谷 敏夫
 後攻(投) ●津田 進 --- (捕) 晝河 勝巳
 (本塁打) _____ (三塁打) 梶家 修
 先攻 (二塁打) 佐藤 勝
 (長打) (本塁打) _____ (三塁打) 晝河 勝巳
 後攻 (二塁打) 井田 規
 (特出記録) _____



MJクラブハイシニア(多気支部) ↑

三重県ハイシニアソフトボール大会

兼全日本ハイシニアソフトボール大会県予選会兼東海地域ハイシニアソフトボール大会県予選会

第1日 2017年 7月 15日 (土)

開催地： 三重県 鈴鹿市

《準決勝》

球場名： 鈴鹿川河川緑地グラウンド・運動広場 No. 4

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:20	計	(球審)
MJクラブハイシニア	0	5	4	2	1	1	0		13	水谷 清泰 (一塁) 三田 龍男 (二塁) 尾崎 隆信 (三塁) 寺田 泰英 (記録) 青木 操
中川パワーズ	0	2	1	0	0	2	0		5	

(バッテリー) [勝:○, 負:●] 先攻 (投) ○西出 公生 --- (捕) 山川 充
 後攻 (投) ●鈴木 明 --- (捕) 余谷 敏夫
 (本塁打) _____ (三塁打) 沢 勝弘②
 (二塁打) 濱口 修次, 田辺 勇
 (長打) _____ (本塁打) 鈴木 明 (三塁打) _____
 後攻 (二塁打) _____
 (特出記録) _____

《準決勝》

球場名： 鈴鹿川河川緑地グラウンド・ソフトボール場 No. 5

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:11	計	(球審)
桑名ハイシニアSBクラブ	0	0	0	1	0	0	0		1	山田 俊彦 (一塁) 寺田 泰英 (二塁) 小林 孝次 (三塁) 鈴木 晃 (記録) 加藤 幸代
四日市ハイシニア	1	0	1	0	0	0	X		2	

(バッテリー) [勝:○, 負:●] 先攻 (投) ●峯 等志 --- (捕) 山長 八蔵
 後攻 (投) ○阿部 公義, 川本 好幸 --- (捕) 丹羽 徹
 (本塁打) _____ (三塁打) _____
 (二塁打) _____
 (長打) _____ (本塁打) _____ (三塁打) _____
 後攻 (二塁打) 丹羽 徹
 (特出記録) _____

第2日 2017年 7月 16日 (日)

《決勝》

球場名： 鈴鹿川河川緑地グラウンド・ソフトボール場 No. 6

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	試合時間1:22	計	(球審)
MJクラブハイシニア	0	0	0	0	0	0		時間切れ	0	山本 雅一 (一塁) 寺田 泰英 (二塁) 北川 敏之 (三塁) 尾崎 隆信 (記録) 加藤 幸代
四日市ハイシニア	3	4	0	5	4	0			16	

(バッテリー) [勝:○, 負:●] 先攻 (投) ●西出 公生 --- (捕) 山川 充
 後攻 (投) ○川本 好幸 --- (捕) 丹羽 徹
 (本塁打) _____ (三塁打) _____
 (二塁打) _____
 (長打) _____ (本塁打) _____ (三塁打) 長谷井 剛②
 後攻 (二塁打) 川本 好幸②, 今村 信行
 (特出記録) _____

【決勝戦評】

四日市ハイシニア、19安打大勝で全国三連覇へ！

四日市は初回二死後、3番芳山俊彦の右前安打・二盗、4番川本好幸の左前安打・二盗で二三塁とすると5番荒木春芳が二遊間を破る2点タイムリーで先制。さらに6番長谷井剛の左中間三塁打で加点。2回には一死二三塁から暴投と2番藤田幸信の二遊間適時打などで7-0とし、4回にも4本のタイムリーなどで大量点を挙げ試合を決めた。

チーム合計19安打・12盗塁、マルチ安打が6人と猛打で三連覇がかかる全国大会へと駒を進めた。

一方MJは、準決勝14安打の打線が2安打と沈黙し敗れた。



四日市ハイシニア(四日市支部)→